令和4年度 児童発達支援 自己評価表（公表）

事業所名：みらいNO1　　公表年月日：令和 5年3月29日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別療育中心なので法令基準より広めのスペースを確保することができています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			横浜市の担当の方より「手厚い支援体制ですね」というお言葉をいただいています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			2階までの階段には手摺を設置しています。車椅子のお子様の受け入れ予定は無いためバリアフリー化の予定はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日、その日勤務の職員全員参加のミーティングを開催しています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方へのアンケート（評価表）を実施し、業務改善に取り組んでいきます。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当法人ウェブサイト及びポータルサイトLITALICO発達ナビにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者及び事業者の二者評価としています。外部評価は今後の検討課題とさせていただきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			株式会社公文教育研究会との契約に基づき、公文式学習導入施設として、定期的に研修を受けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			膨大な支援経過記録をもとに児童発達支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ABA（応用行動分析）をベースにアセスメントをしています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			「発達支援」「家族支援」「地域支援」に分けて明示するよう個別支援計画の形式を変更しました。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			打合せやミーティングにおいて療育内容を常に話し合っています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			同上
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			課題内容はお子様の特性及び発達の方向性に合わせたものにしています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			小集団療育を始めましたので今後の児童発達支援計画に反映させていきます。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員は支援内容を事前に打合せしてから、支援に望んでいます。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ICT化により迅速な情報共有をしています。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			詳細な支援経過をもとに次回の療育内容を必要に応じて調整しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々のモニタリングにより支援内容は微調整しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	コロナ禍であることも含め、会議は未開催です。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			送迎の際には園関係者とコミュニケーションをとるよう心がけています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	該当するお子様の受け入れはしていないです。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	同上
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の方よりご相談を受けましたら対応しております。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			同上
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて連絡は取り合っております。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		非常に限定的でしたが機会を設けることができました。頻度は今後の課題です。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	今後はZOOMを活用して参加していく予定でおります。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			対面でのフィードバックや連絡帳、SNSを活用しています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか			○	職員体制の強化と併せ、今後の検討課題としていきます。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			必要に応じて補足するようにしています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者の方との何気ない普段のやり取りからもうまく吸い上げるようにしています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			対面だけでなくSNSも活用して可能な限りフォローしています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	SNS等の手段も含め、今後の検討課題としています。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			SNS等も活用して迅速な対応に努めています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			コロナ禍においてはSNS等を活用し、月１～２回の頻度で発信しています。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			限られた職員しかアクセス出来ないようにしています。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的支援の利用等を実施しています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍においては検討課題としています。
非	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			感染症対策等の強化の義務付けに向け、現在あるものをより詳細に整備をして行く予定でいます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			小集団療育において避難訓練を実施しました。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に保護者の方にフェイスシートを記入していただいています。

非常時等の対応	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にすべての保護者の方にアレルギーの有無を確認しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリ・ハット事例の報告書を作成・管理し、職員間で共有できる体制を整えています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、研修を開催しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束等の適正化のための指針を定め、委員会を設置、開催しました。